

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 麒麟ビール株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒164-0001 東京都中野区4-10-2 中野セントラルパークサウス	
本票作成	部署名：生産本部 岡山工場 エンジニアリング環境安全担当				
主たる業種	分類コード	10	業種名：飲料・たばこ・飼料製造業		
事業の概要	ビール製造業 ビール製造量：341千kl（令和元年度）従業員数：194名				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	麒麟ビール(株)岡山工場		岡山市東区瀬戸町万富678番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 元 年度)			目標年度 (令和 6 年度)					
	25,480 t CO ₂			24,206 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 元 年度) の排出量					
	①	麒麟ビール(株)岡山工場		25,480 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	原単位指標：製造量 (千kl)		基準年度	目標年度
			74.7 t CO ₂ / (千kl)	71.0 t CO ₂ / (千kl)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 元 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

エネルギー原単位前年比1%削減を省エネの基本的な考え方として、CO₂削減についてもそれに従った目標設定とする。

【目標削減率達成のための推進体制】

1回/月の頻度で省エネ部会（事務局：エンジ環安担当 出席対象：各部署担当者他）を開催し、省エネアイテムの積上げと実行のスケジュール管理をするとともに、エネルギー使用量・原単位および各部署の削減活動の共有を継続する。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
岡山工場	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年 ボイラー燃料転換（A重油→天然ガス） ・平成19年 太陽光発電導入 ・平成19年 バイオガス発電機導入 ・平成19年 発電機廃熱回収設備導入 ・平成20年 壘列1系列集約化 ・平成23年 バイオガスボイラー導入 ・平成24年 排水熱回収設備の導入 ・令和元年 排水ヒートポンプの導入

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
岡山工場	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージング工程での蒸気使用量削減（目標蒸気削減量：6,000トン/年）※殺菌機、洗壘機、洗浄機などの蒸気使用量適正化 ・湯タンクの昇温効率UPによる蒸気ロスの削減（目標蒸気削減量：2,000トン/年） ・蒸気回収・再圧縮システムを最大限活用した麦汁煮沸工程における蒸気削減（目標蒸気削減量：5,000トン/年） ・冷凍機使用方法の変更による電力使用量削減（目標電力削減量：70,000kWh/年）

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	有	岡山工場水源の森活動として、工場周辺地域の植樹活動を毎年実施している。
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	有	太陽光発電や風力発電など、自然エネルギーを活用した発電設備の導入検討を実施する（具体的な導入計画について決定事項はなし）。
その他	無	

【その他特記事項】

--